

2021年度 通常総代会 報告書

2020年度を振り返り、2021年度の計画を決めました。
 【成長分野の強化・発展】 【事業環境変化への対応】
 【そのための運営体制の見直し】



議案提案する
小助川専務理事



開会挨拶する
柿澤理事長



監査報告する
坂爪監事会議長



議案提案する
井澤常務理事

2021年度 北大生協 通常総代会 議案

- 第1号議案 2020年度事業報告書・決算関係書類承認の件
- 第2号議案 2021年度事業計画及び予算承認の件
- 第3号議案 役員報酬限度額決定の件
- 第4号議案 定款一部改正の件
- 第5号議案 総代会決定となっている意思決定基準の一部変更承認の件
- 第6号議案 議案決議効力発生の件
- 役員選出の件

北海道大学生生活協同組合

● 昨年の経験から学び、リモートでの接点づくりから始めました。
 ● 「北大生協」の再建計画再構築のスタート元年となります。
 ● 経営を安定させ、組合員サービスの回復と向上を目指します。

5月26日、北大生協会館多目的ホールにて2021年度通常総代会が開催されました。今年は新入生にリモートで会い、総代などのクラス代表を決める機会を創ることができ、1年生全クラスの総代選出が叶いました。総代会は、委任による実出席1名、書面出席139名で成立し賛成多数で全議案可決承認頂きました。

議案の採決結果と出席者数

総代選出状況

選挙区	定数	選出数	選出率	本人出席	代理出席	書面出席	出席合計	参加率
学部1年生	52	52	100.0%	0	0	48	48	0.0%
学部上級生	48	40	83.3%	0	0	29	29	72.5%
大学院生	50	23	46.0%	0	0	15	15	65.2%
教職員	60	52	86.7%	0	0	44	44	84.6%
生協その他	10	5	50.0%	0	1	3	4	80.0%
	220	172	78.2%	0	1	139	140	81.4%

●2021年度は新入生の総代選出が出来ましたが、2年生を選出する機会が無いため、学部生の選挙区を一本にしました。

4月26日 最終

選挙区 (人)	2021定数	2021目標	2021	2020	2019	2018
学部生	100	90/100	92	0/52	52/52	52/52
				60/90	66/90	71/90
大学院生	50	40/50	23	37/50	29/50	21/50
教職員	60	60/75	52	54/75	54/75	60/75
生協職員その他	10	10/10	5	7/7	7/7	7/7
合計	220	200/220	172	158/274	208/274	211/274

出席状況	1年生	上級生	院生	教職員	その他	合計
本人出席	0	0	0	0	0	0
代理出席	0	0	0	0	1	1
書面出席	48	29	15	44	3	139
合計	48	29	15	44	4	140

●全議案全て賛成多数で可決承認されました。

【議案採決結果】

議案	保留	反対	賛成
第1号議案 2020年度事業報告書・決算関係書類承認の件	2	1	136
第2号議案 2021年度事業計画及び予算承認の件	2	3	134
第3号議案 役員報酬限度額決定の件	3	1	135
第4号議案 定款一部改正の件	2	0	137
第5号議案 総代会決定となっている意思決定基準の一部変更承認の件	4	6	129
第6号議案 議案決議効力発生の件	3	0	136

※ 議長は採決者数に加わりません

2021年度通常総代会 議事の概要

【2021年度 通常総代会】

開催日時：2021年5月26日（水）18:33～19:32

開催場所：北大生協会館1階 多目的ホール

出席総代：本人出席 0人・代理人出席1人・書面出席 139人 合計 140人

出席役員：柿澤 宏昭 理事長、小助川 誠 専務理事、井崎 貴皓 常務理事
鏡 秀隆 常務理事、坂爪 浩史 監事会議長

議長：中村 拓也（代理委任：生協職員・その他選挙区）

書記：大塚 素子（学部2年生）

議事運営委員：鏡 秀隆（常務理事）、野崎 知司（生協職員）

リモートでの傍聴者：34名（そのうち総代は11名）

リモートでの発言者：1名

2021年度も昨年に引き続き、新型コロナウイルス拡大防止のためできる限り少人数の参加者と事務局で「3密」に注意をしながらの開催でした。

実出席（委任）された総代の方に議長をお願いし、実質的に「書面議決書」だけによる採決となりましたが、Zoomによるリモート参加も試み、事前に発言通告用紙を提出いただきリモートでの発言もあり、事前に多くの意見（「意見書」後掲P5）もいただき総代会自体の緊張感は例年と変わらないものがありました。



【第1号議案 2020年度事業報告・決算関係書類等承認の件】

- 2020年3月から2021年2月までの北大生協の事業と経営結果の妥当性について確認され、2020年度に生じた損失の処理方法についても承認されました。
- 当期末処分損失金23,680万円は施設整備積立金246万円を充当し残り23,435万円を2021年度に繰り越す事が承認されました。

井崎 貴皓 常務理事より2020年度の組合員活動報告及び事業活動報告、決算関係の報告がなされ、坂爪浩史 監事会議長より監査報告があり過半数の賛成により原案どおり可決承認されました。（賛成136、保留2、反対1）

【第2号議案 2021年度事業計画及び予算決定の件】

※P7に議案資料添付

- 2021年度の事業計画を3つの目柱になる方針を掲げ部門横断的に執行することを決定しました。
- 事業計画予算は、コロナウイルス感染症の拡大の影響が授業のあり方に影響するため、前学期は利用者数を押さえ、後学期に新たな事業環境に合わせた事業計画としており、大学のBCPの変遷に伴い変動要素は多分にあることを確認頂いた上で承認頂きました。

井崎 貴浩常務理事より、2021年度事業計画及び予算決定の件について提案され過半数の賛成により原案どおり可決承認され決定しました。（賛成134、保留2、反対3）

【第3号議案 役員報酬限度額決定の件】

- 役員（理事・監事）の役員報酬の限度額を決定し、その運用については理事会・監事会に委ねることが承認されました。

小助川 誠 専務理事より、役員報酬限度額決定の件について提案され、過半数の賛成により原案どおり可決承認され決定しました。（賛成135、保留3、反対1）

【第4号議案 定款一部改正の件】

- 下記のように定款の一部を改正する事が承認されました。
（定款第23条第10項1号のイ）※生協法第31条の改正に伴い条項番号の変更のため、定款内容の変更は北海道庁の承認を待たず施行されます。

小助川 誠 専務理事より、定款一部改正の件について提案され、2/3以上の賛成により原案どおり可決承認され決定しました。（賛成137、保留2、反対0）

【第5号議案 総代会決定となっている意思決定基準の一部変更承認の件】

- 長い年月の間に定款に規定されている「総代会決定」から削除されている2項目の決定・承認機関が意思決定基準上だけ「総代会」と記載され残っていました。既に基本メニューも還元率も総代会決定事項では無くなっていることを伝え、意思決定基準の間違いを報告すると共に総代会で決定しないまでも、総代会議などで総代・組合員の声を聞きながら理事会で判断させて頂く事を承認にいただきました。

小助川 誠 専務理事より、総代会決定となっている意思決定基準の一部変更承認の件について提案され、過半数の賛成により原案どおり可決承認され決定しました。（賛成129、保留4、反対6）

【第6号議案 議案決議効力発生の件】

小助川 誠 専務理事より、議案決議効力発生の件について提案され過半数の賛成により原案どおり可決承認されました。（賛成136、保留3、反対0）

【役員選出の件】

理事及び監事全員が本総代会の終了をもって任期満了退任となるため、2021年度役員選挙をおこないました。

役員選挙管理委員会 山口委員長より、『役員選挙規約に従い公告期間に受付た候補者は理事会推薦のみであり、定数内（理事21名、監事5名）のため、投票は省略し候補者は全員当選とする』旨の説明があり、拍手で確認されました。

2021年度 役員一覧

- 2021年度の理事・監事は通常総代会により決定就任し、理事会及び監事会それぞれの第1回会合において、役職について互選されました。

2021年度 北大生協 役員名簿

● 理事

	役職	氏名	所属
1	代表理事 理事長	坂爪 浩史	農学研究院 教員
2	代表理事 専務理事	小助川 誠	生協職員
3	常務理事	林 忠一	北方圏フィールド 職員
4	常勤常務理事	鏡 秀隆	生協職員
5	常務理事	伊藤 凌	理学院 修士2年
6	常務理事	安藤 亮博	農学院 修士1年
7	常務理事	高橋 廉	理学部 学生4年
8	常務理事	井崎 貴皓	工学部 学生3年
9	常務理事	小松 慎太郎	文学部 学生2年
10	理事	笠原 敏史	保健科学研究院 教員
11	理事	伊藤 美香	低温科学研究所 職員
12	理事	金川 眞行	理学生命科学事務部 職員
13	理事	小篠 隆夫	工学研究院 教員
14	理事	久保 淳司	経済学研究院 教員
15	理事	今村 央	水産科学研究院 教員
16	理事	原 拓也	情報科学院 修士1年
17	理事	奥山 莉子	工学部 学生4年
18	理事	高木 暉馬	農学部 学生4年
19	理事	三澤 建成	工学部 学生3年
20	理事	吉川 牧瀬	文学部 学生2年
21	理事	吉田 薫穂	理学部 学生3年

● 監事

	役職	氏名	所属
1	監事会議長	芳賀 永	先端生命科学研究院 教員・大学推薦
2	監事	岡野 泰樹	経済学研究院 教員
3	監事	宮本 桜桃	経済学部3年
4	監事	齋藤 環温	経済学部3年
5	監事	運天 ひなた	経済学部3年

発言と回答



【発言通告用紙】 学部生選挙区 (1年) M.S

●第1号議案、第2号議案への反対意見

※議事運営委員の判断で、第2号議案を高める立場での賛成意見と受け止めました。

< 発言内容 >

現状を打破するために、事業を縮小し続けるのであれば、ますます大学構成員との『つながり』が失われることとなる。接客中心の事業活動を縮小するのであれば、他の事業活動を拡大し、利益を生み出す必要がある。たとえば、食堂の需要を高めるために、健康を意識した野菜をたくさん(150gくらい)摂取出来るメニューを作ったり、学食のデリバリーサービス(持ち運びしやすいもののみ)を始めたりするのはどうか。

また、読書・学習に焦点をあて、生協で書籍を多く買ってもらえるような工夫が必要だと考える。たとえば、組合員の登録情報をもとに、組合員一人一人に必要なと思われる情報を、ログイン後に見ることが出来るようにする、などである。

また、新型コロナウイルスのワクチンの接種が進むことから、今のうちから事業規模を拡大し、コロナ禍後速やかに多くの利益を生み出せるようにしておくことが必要であると考えます。

【回答】 専務理事 小助川 誠

これからの組合員利用をどう増やしていくべきか組合員生活の変化、事業環境の変化を捉えて「事業のあり方」を変えていくことが大切です。これまでは基幹店が小規模店舗の赤字を補う運営体制としておりましたが、この状況を続けることは北大生協の存続が危ぶまれます。

不採算部門、店舗の統合、廃止などの検討は必要になります。そのことと新しい事業を進める検討も必要だと考えています。例えば長時間営業ができる無人店舗への業態変更、店舗で来店を待つだけではなく、組合員に直接向くような事業形態の研究を行い利用してもらえる工夫が必要です。

食堂メニューをデリバリーでお届けしてはと言った意見もあります。一部の食堂でテスト運用して、運用の結果を分析し全体(又は一部)で取組み「できる」「できない」の判断をしていきたいと考えています。

1店舗で多くの利用人数を増やすことではなく数店舗で10人~20人利用増とし、5店舗で50人~100人増やせる取組みを進めていきたいと思っております。

少しでも組合員により添える取組みをしたいと思っております。昨年の中頃、1年後コロナ感染は終息に向かい学生さんは大学にある程度戻れることを想定していましたが、まさかの緊急事態宣言の発令、大学の行動指針レベルも上がり行動の自粛範囲が拡大しました。そのため、組合員が戻る見通しがつかないという状況を再認識し、今何が出来て、何を求められているのかを早急に整理し対応、対策を急ぎたいと思っております。

寄せられた意見と回答



(1) 教職員選挙区 H.A

毎月の総代会議では、生協さんからの報告はより簡潔に（事前に”資料を読んでおいて下さい。”もいいと思う）。そして、利用する人の意見・アイデア、お願いをより集めそれに対する生協さんの考え、その後の経過、話し合いの結果をきちんと返して欲しいです。こちらの話しを聞きっ放しにせず、どう動いているのかが見えないと、出る意見・より良いアイデアも集まらなくなります。そして、皆さんにも伝わるような宣伝をして下さい。

【回 答】

総代会議の運用については議論できることが大切です。話されたことの経過、共有ができる時間を設け共有できる総代会議となるよう努めていきます。

(2) その他選挙区(地域) M.M

第2号議案と第5号議案に付いて、以下の理由で反対します。

<① 第2号議案について>

▼【3つの方針】の方向性については昨今の状況から賛同できるが、具体的な中身についてはこの提案だけでは賛同できない。学生の貧困が社会問題化している中で、生協までもが単純に不採算部門の切り捨て、人件費削減に走ってしまったのでは大学内に協同組合が存在する意義を見失うのではないか？

▼「住まい」の分野ではマンション重視の方針が見える。低価格で安心して暮らせる新形態の共同住宅や貸間の発掘が必要な時代に思える。「学び」の分野の発展には対応する職員の専門性こそが鍵だと思う。運営体制の見直しや人件費削減と本当に両立するかが、この提案では全く見えて来ない。人件費削減は労理合意済みとのことだが、その具体的な数や中身が分からず、総代として判断が適切に下せない状況に思う。

【回 答】 専務理事 小助川 誠

生協の事業は組合員の出資金をもとに行われており、生協の財産は組合員の財産です。組合員の財産が無駄に浪費されても困ります。組合員の財産を管理し（守り）、無駄なく活用し健全な経営をすることが求められております。しかしながら、コロナ禍以前から厳しい状況で、北大生協は赤字体質の脱却のための経営改善を以前から進めておりました。2019年度に「経営再構築タスク」を立ち上げ理事会で討議を重ね2020年度まで赤字予算とし2020年度から複合店舗化、赤字部門や店舗の抜本的改革を図っていくことを掲げ、収支を均衡させ2022年度から5ヶ年程度で累積赤字を償却することにしました。（次頁へ続く）

寄せられた意見と回答



(つづき)

しかし2020年1月新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学内の研究活動、授業、サークルのなど学生の課外活動、集会（学会、研修、説明会）卒業式、入学式など様々な対面活動が自粛、禁止となり、予定していた供給計画は全て大打撃を受け、営業時間の大幅な短縮、休業を余儀なくされております。

こういった状況の長期化が続き2019年度当期末処分剰余金▲4,878万円、2020年度当期末処分剰余金▲2億3,680万円に膨らみました。2021年度もコロナ感染が続き終息の目処が立たなく経常剰余予算は▲5,076万円の赤字予算としました。更に組合員の財産を大きく悪化させることになりましたが「北大生協の灯を消さない」ためにも赤字の流出を抑えることが重要な課題としました。

2019年度までの累損▲3,460万円から約7倍の赤字となり、赤字の流出（過剰な費用）となる項目を止めること、来店客数の大幅な減少による供給減少で資金運用も厳しくなることも考え、不採算部門、店舗の統合、廃止、希望退職、転職の募集、役職員給与、賞与の削減を実施せざるを得ない状況です。議案書52ページで2019年度実績、2020年実績、2021年度事業計画予算が確認できますが、大幅な供給減少による供給剰余の減少の中で事業経費も大幅に抑えていきますが2021年度の経常剰余金はマイナスになります。

今後も議案書で提案した方針、課題については理事会で討議を重ね経営の継続と改善に努めて参ります。引き続き組合員の皆さまにはご不便をお掛け致しますが、ご理解とご支持いただければ幸いです。

<② 第5号議案について>

スピードが必要なことは分かるが、価格変更という重大な局面に総代が関わらないで協同組合と言えるのか？総代会の下に新たな議決機関を設けるなど体制の改革が先な気がする。

【回 答】 専務理事 小助川 誠

意思決定基準の決定承認機関について理事会に変更としますが、総代への聞取り、意見を求めることが必要な項目について引き続き相談はさせていただきます。価格、還元率などについては、値上げ、値下げが早くから実施できたとしても数カ月後の総代会まで決定、承認できないこととなります。理事会を決定、承認機関としてご理解お願い致します。

寄せられた意見と回答



(3) 院生選挙区 N.S

① 総代への連絡手段がE-mailですることにより不満はないが、メールアドレスが携帯電話のものを指定する理由が不明である。PCのメールアドレスを登録させるべきであると思う。携帯電話だと気づかない人が多いはず。

【回答】

総代立候補の届出書類には「携帯電話用」（連絡用）「PC用」（データ添付用）と両方の記入欄があります。申し訳ございません。総代の推薦において本人の了解を得て記載をした者が片方しか聴き取らなかったものと思われます。次年度に向けて、総代選出・継続願いの方法について再度徹底したいと思います。

(3) 院生選挙区 N.S

② 紙媒体で総代会の案内や議案書を郵送していただけるのはありがたいが、経費・資源の無駄である。希望者のみに郵送するだけにし、基本は電子データを送信するか、指示すれば足りる。生協の運営が厳しいといっている割にはお金の使い方の工夫が足りないと思う。

【回答】

総代会は消費生活協同組合法（生協法）で規定されている法的な要件を守らなければ成立しません。総代会が成立し、議案が承認されなければ営業が出来なくなります。

招請状と議案書の送付は生協法と定款（第54条）に規定されていることですので法改正が無い限り書面での手渡し又は郵送を行います。



寄せられた意見と回答



(3) 院生選挙区

N.S

- ③ 理事が総代を募集するアナウンスが学生に伝わっていない。
- ▼生協にもっとこうしてほしいと意見をもつ人は多数いると思うが、それを伝えるしくみが全く整ってないと思う。
- ▼ 役員に報酬が出るしくみに納得していない人が数多くいる。周知すべき。
- ▼ボランティアで良い。職員に還元すべき。

【回答】

総代の募集もそれを行う組織委員の募集も全て同じ組合員で行っており、ある意味運動体に近い中身で運営（組織活動）されております。学部生は4年～6年＋院生の2～4年ですが、在学中何年間も活動を続けて経験と理解を深めることは望まれますが、実践は難しいのが実情です。

教職員には教職員組織委員会というのが50年以上の歴史を持ち、代は変われどその活動内容は引き継がれてきております。教職員の方々を対象とした「教職員総代会議」が毎月開催（去年と今年はZoomで開催）されており、様々な要望やお叱りを頂いております。

学部生や院生のところでも同じような取組が、その構成員の中から主体的に創り上げる意志を持った組合員の手で行えますことを期待いたします。

現在、組合員の要望意見を聞く仕組みとして継続して存在するのは、上記の「教職員総代会議」と多くの店舗に設置されている「組合員の声カード」となります。今は、総代会議案書にある決算書を見て頂ければお分かりなるかと思いますが、債務超過直前の状況で過大なシステム開発などはできません。しかし、何も行わなければ前進も変化もありません。頂いた多くの要望・意見を店舗に実現し組合員にどの様にお返しするのかを常務理事会、理事会で議論をしております。

役員報酬ですが、役員総額1,600万のうち実際に使われているのは2019年度930万、2020年度は910万となっております。その殆どは専務理事と専務補佐2名の常勤役員の報酬（実態は職員給与です）であり、それ以外の非常勤理事には交通費程度の役員報酬となっておりますこと、ご理解ください。

※7月上旬に院生の「総代会議」をZoomで開催する準備をしております。



(4) 学部生選挙区(1年) M.T

食堂の丼物、ご飯の量が多すぎる。たしかに、お腹は米の量で一杯になるが、もう少しおかずの分量を増やして欲しい。

【回答】

ご飯の量について多い場合は出食の時に「ごはん少なめ」とお伝えしていただくと量を少なめにできます。面倒おかけしますが一言お願いします。

おかずの分量については单品ごとにレシピがあり全体の丼のおかずを増やすことはできません。この丼だけもう少し増やしてほしいという丼がありましたらご意見をください、参考にさせていただきます。

(5) 学部生選挙区(1年) H.Y

自転車置き場にスタンドの設置を求めます。理由としては札幌は風が強く、自転車を停めておくと風で倒されてしまう。そのため、自転車が故障することもあります。そこで、高等教育推進機構・北部食堂・北部図書館付近を中心に、可能であれば北大構内全域にスタンド付きの自転車置き場の設置を求めます。

【回答】

自転車置場のスタンド設置については大学への要望になります。大学全域に自転車のスタンド設置要望があったことをお伝えします。

(6) 学部生選挙区(1年) K.Y

普段から食堂でミールカードを利用しているのですが、一つ一つの品物の料金が端数があり550円以内で組み合わせることが容易にできないため、利用者からすると10円単位にして下されば助かります。

【回答】

同感です。出来るだけ10円単位で組合員価格を付けたいのですが、本体価格があり、それに対応する消費税となっているためなかなか上手くいきません。元々は10円単位の組合員価格でしたが、諸費率は3%、5%、8%、10%と変遷してきております。そのたびに便乗値上げで10円単位に丸めることも可能でしたが、そうはしませんでした。

価格改定(値上げ)のときに本体価格+消費税で丸めても数年後に税率が変われば端数が出てしまいます。

今回は10%ですので、新規メニューから丸めて行ければと考えています。

(7) 学部生選挙区 K.G

北部食堂において、丼もののメニューのうち1つを牛トロ丼に固定せず、バリエーションに富んだメニュー展開をしていただきたいというお声や、1～4限まで授業で埋まっている医学部などの学生にとっては、生協の購買の営業時間の都合が良くなく、不便というお声がありました。

北大内にセイコーマートが開業してから多くの学生がそちらを利用するようになりましたが、生協でなくセイコーマートを利用した学生に聞き取りを行えば、生協店舗の利点・欠点がわかることがあるかもしれません。調査を行う可能性はありますか？

【回 答】

・牛トロ丼に固定せずバリエーションに富んだメニュー展開をしてほしい

特に新学期では短いお昼休憩時間内で食べられるよう食堂利用の混雑解消に多くの要望がでるため、メニューを絞り迷わせない、出食時間を早める、週単位のメニュー提供、客数減少の影響もありメニューを絞り破棄ロスの削減に取り組むこともありましたが、「期間限定のおすすめメニュー」「季節メニュー」など今後展開して参ります。新しいメニューが出た時には是非、ご利用をお願いいたします。

・購買の営業時間が不便

営業時間については、今後のキャンパスの学生のみなさんの滞在の状況、感染拡大の収束の状況を見て判断してまいりたいと思います。北海道大学の行動指針レベルの各行動の運用基準を考慮して営業を当面行っていくことにご理解ください。

みなさんに安心してご利用いただける環境をつくることに細心の注意をはらって運営してまいります。

ご不便をお掛けしますが、引きつづきご利用くださいますようお願いいたします。

・セコマを利用した学生への聞き取り利点、欠点を知る調査を行うことを考えているか

生協の利点、欠点を把握して運営することは大切だと思っております。現段階での調査は「わかもの応援、自由記入アンケート」、「学生委員会からのアンケート」「学生生活実態調査」「新入生保護者アンケート」を実施しました。アンケートでは友達と交流したい、大学に行きたい、アルバイト減少で収入減少した。生活が苦しくなった、食量支援はとても助かる、親からの仕送りが減少、生協の営業時間などについて様々な声がありました。北大生協の今後の運営に期待している声もありました。北大構内に限られたエリアで経営している北大生協は大学構成員の生活スタイルの変化を捉え運営できることが大切ですので、新たにアンケートを実施する場合は何を目的にしてアンケートとるのか決めて実施します。

(8) 学部生選挙区(1年) I.Y

学食の値段が高いと思います。私は新入生なので去年との比較はできませんが、とある教授はチーズチキンカツの値段が2倍になったとおっしゃっていました。

赤字を削減する必要性はわかりますが、正直ミールカードを持っている人以外が学食を利用するメリットがほとんどありません。このままでは赤字の削減どころか学食離れによる赤字の拡大すら起こり得ると思います。

緊急事態宣言によって再び授業がオンラインになった中大変だとは思いますが、学食の値下げを検討してはいただけないでしょうか？

【回答】

ミールカードは年間定期券として年間多く食堂利用をしていただけることでお得になる内容になっています。ミールカードではなく生協電子マネーでお支払いの場合もポイント付与がされお得に利用できるようになっています。ミールカード利用者だけがお得になっている訳ではありませんので、このこともしっかりとお知らせをして生協利用に繋げていけるようにします。

食堂メニューの価格が高い、値下げしてほしいという意見に対して、大変心苦しい回答となります。

すでに北大生協ホームページ、食堂店舗ポスターなどでご案内しておりますが、「より安く」については、全国の大学生協と共同して食品開発と共同仕入れを行うことで食材の価格を抑え、数年間組合員の皆様へより安価なメニューの提供に努めて参りました。

しかし、2020年1月より新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受け、全国の大学で登校者数が激減し全国的に食材の使用量が減少したことによって有利な取引条件を維持できなくなり、食材価格、物流価格がより一層高騰することとなりました。経営を維持するため価格改定をせざるを得ない状況となりました。

「丼メニュー30円」「カレーメニュー20円」「麺メニュー20円」（税抜）を値上げさせていただくことになりました。今回の改定で組合員の皆様のご負担が大きくなることを心よりお詫びを申し上げますとともに、皆様のご理解をお願い申し上げます。

【資料】議案書ダイジェストから抜粋

第2号議案 「2021年度事業計画及び予算決定の件」

議案書P48～54

2021年度の事業計画や予算などを提案します。この第2号議案を総代のみなさんの賛成多数で決めていただくことで、2021年度に理事会が事業を続ける根拠が整います。

〈はじめに〉⇒P48

第1号議案の通り、累積赤字額は2億円を超えています。

2020年度は新型コロナウイルスが猛威を振るい、北大生協も大きい影響を受けました。2021年度はウィズコロナ・アフターコロナを見据え、これまでとは違う枠組みから、諸課題を解決していかなければなりません。

2021年度は、2020年に策定した「新型コロナウイルスの影響による経営危機下の経営再建策」を再編成して進めます。

これまでは生協全体の収益を経営困難な小規模店舗に回して運営してきましたが、コロナによって学内人口が減少し、生協全体の収益を大きく落としましたため、以前のように経営困難な小規模店舗を多数抱え持つ運営は困難な状況にあります。その上で、以下に「3つの方針」を掲げます。

- ①成長が期待できる「食」・「住まい」・「学び」の事業分野を発展させていきます。
- ②事業環境の変化を捉えて、「事業のあり方」を変えていきます。
- ③課題遂行のため、運営体制の見直しを行います。

6 これらの「3つの方針」は本冊子の次のページ以降で説明します。

①成長が期待できる「食」・「住まい」・「学び」の事業分野を発展させていきます。

○「食」の分野

- ・ミールカードの推進
→節約されがちな食費を確保してもらったためです。
- ・安心で安全な食材にこだわったメニューの提案
→北大生協独自のメニューも提案します。
- ・弁当やパンの製造・販売を引き続き行います。
- ・割引企画やポイント還元企画を実施します。



○「住まい」の分野

- ・北大生の生活に合った物件をわかりやすく紹介し、入居後に後悔しない住まい選びをサポートします。
- ・キャンパス周辺の物件を積極的に調査し、管理物件を増やします。

○「学び」の分野

- ・ノートPCの準備を薦め、PC初心者をサポートします。
→オンラインの授業が引き続き多くなることを想定しています。
- ・4年間安心して使用できるよう、「パソコンプレミアサポート」を提案します。
- ・教科書販売はオンライン受注も行う、組合員に利用してもらえようように努めます。
- ・公務員講座では、受講生に寄り添った講座を提供します。

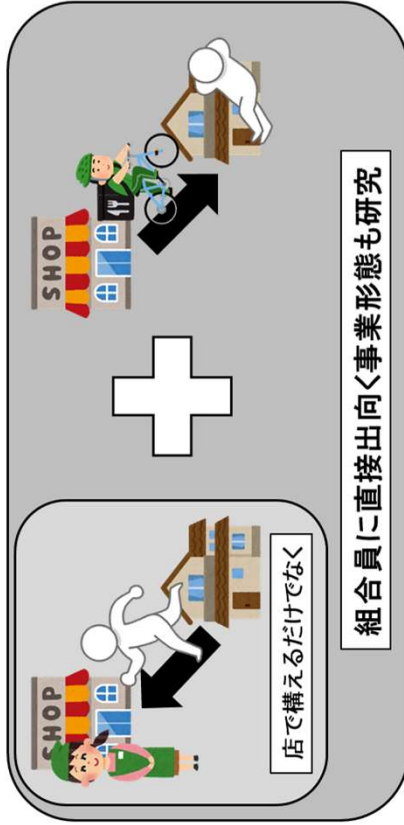


↑PC無料点検の様子

【資料】議案書ダイジェストから抜粋

②事業環境の変化を捉えて、「事業のあり方」を変えていきます。

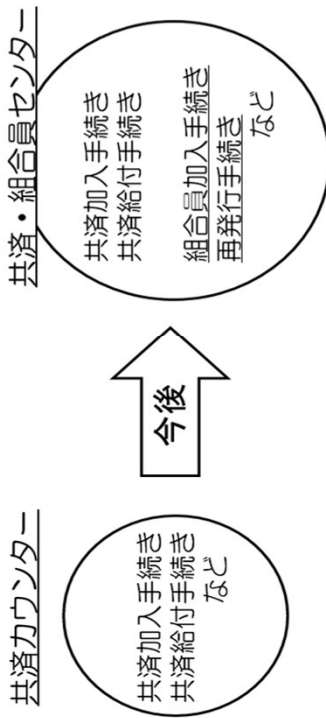
- 学内人口が激減し、今までの事業形態では経営の維持が困難です。
24時間対応できる無人店舗への業態変更を目指します。
- ↑ 無人店舗一部機器のイメージ
- 店舗で構えるだけでなく、組合員に直接出向く事業形態を研究していきます。



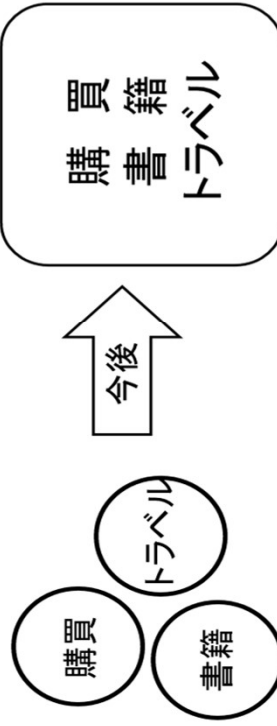
- 各施設の課題の解決を目指します。
→ 中央食堂1階の内装は新しくなりましたが、上下水道のインフラは老朽化したままです。
→ 北部厚生会館は建物全体が老朽化しています。



↑ 内装が新しくなった中央食堂1階



- 北部厚生会館2階の購買・書籍・トラベルの一体運営を新たにを行います。



部門ごとの運営

北部厚生会館2階で一体運営

- 中央購買を、今までのコンビニ形態とは異なったサービス機能を持つ店舗に変更します。
- 配置職員数の削減による人件費削減を進めます。
- 物件費（設備投資・委託業務など）の削減を進めます。



つながる元気、ときめきキャンパス。



(編集 発行) 北海道大学生生活協同組合 常務理事会
〒060-0808 札幌市北区北8条西7丁目
TEL : 011-746-6218
Mail seikyou@coop.hokudai.ac.jp